



「創立30周年を迎えて」 ご挨拶

本日弊社は創業から30年の創立記念日を迎えました。取り巻く環境が厳しい中でこうした日を迎えられたのも、常日頃から弊社の商品、サービスをご利用いただいているお客さまをはじめ、地域の方々や取引企業、諸先輩方のご支援の賜物であると心より厚く御礼申し上げます。

弊社は1992年9月1日に「株式会社びゅうワールド」として創業しました。当時の海外旅行需要の高まりを受け、海外旅行商品のホールセール事業を担う会社として、日本航空株式会社と東日本旅客鉄道株式会社が共同で設立したものです。設立当初は総勢26名という非常に小さな会社でしたが、1996年度には海外旅行収入最高額を記録するなど、順調に成長していきました。

しかし、度重なるテロ事件や2003年のSARS、鳥インフルエンザの流行のほか、インターネットの急速な普及により、海外旅行市場を取り巻く環境は、会社設立時の状況から大きく変化し、それに伴って消費者行動にも変化が見えてきました。そこで、海外旅行商品のホールセラーとしての事業展開に加え、2003年度からは新たにJR東日本のインバウンド事業「JR東日本訪日旅行手配センター」の運営を開始し、海外からの団体旅行列車や鉄道利用パック商品の予約販売などを実施するなど、事業の拡大に努めました。

海外旅行事業・インバウンド事業を中心に担っていた弊社ですが、「JR東日本大人の休日倶楽部」をはじめとする国内旅行事業とその周辺事業にも積極的に取り組み、事業領域の拡大と更なる発展を目指していく思いを込めて、2006年10月に「株式会社びゅうトラベルサービス」へと社名を変更しました。

その後、東日本大震災後の厳しい経営環境下、びゅう予約センターや、JR東日本北陸営業センターの開設、びゅう旅行商品の造成部門とびゅうプラザの移管、TRAIN SUITE 四季島の運行開始、そしてJR東日本びゅうダイナミックレールパックの発売開始と駅たびコンシェルジュの開業など、事業領域の拡大を行い、社業の発展に努めてきました。そして、創業30周年を迎えた今年4月、これまで進めてきた販売機能・店舗機能における“変革”の総仕上げを契機として、「株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス」と社名を変更し、観光流動創造会社としての新たなスタートを切りました。

会社設立以来、今日までを振り返って見えてくるのは、常に更なる発展を目指して新たなことにチャレンジを続け、時代の変化に柔軟に対応してきた弊社と社員の姿です。そして、今まさに新型コロナウイルスの影響を受けた変化に対応していますが、これまで度重なる経営環境の変化に弊社が立ち向かえたのも、そのたびに弊社事業の方針をご理解いただき、励まし、温かく支えてくださった地域の皆さまと取引企業さまのお力添えがあったからこそと改めて心から感謝申し上げます。

私たちはこれからも「We are the VTS!」の精神を常に持って、新しいことに積極的にチャレンジをして、お客さまに良質な旅行サービスの提供に努めるとともに観光流動を創造して参ります。まだまだ観光業界は厳しい状況が続いていますが、皆さまと歩んで来た30周年を大切に、未来へ向けてしっかりサステナブルに歩みを進めて参りますので、これからも引き続きのご支援賜りますようお願い申し上げます。

2022年9月1日

代表取締役社長

森崎 鉄郎